

インフルエンザ流行情報について（第19報） 〈最終報〉

●インフルエンザ流行情報

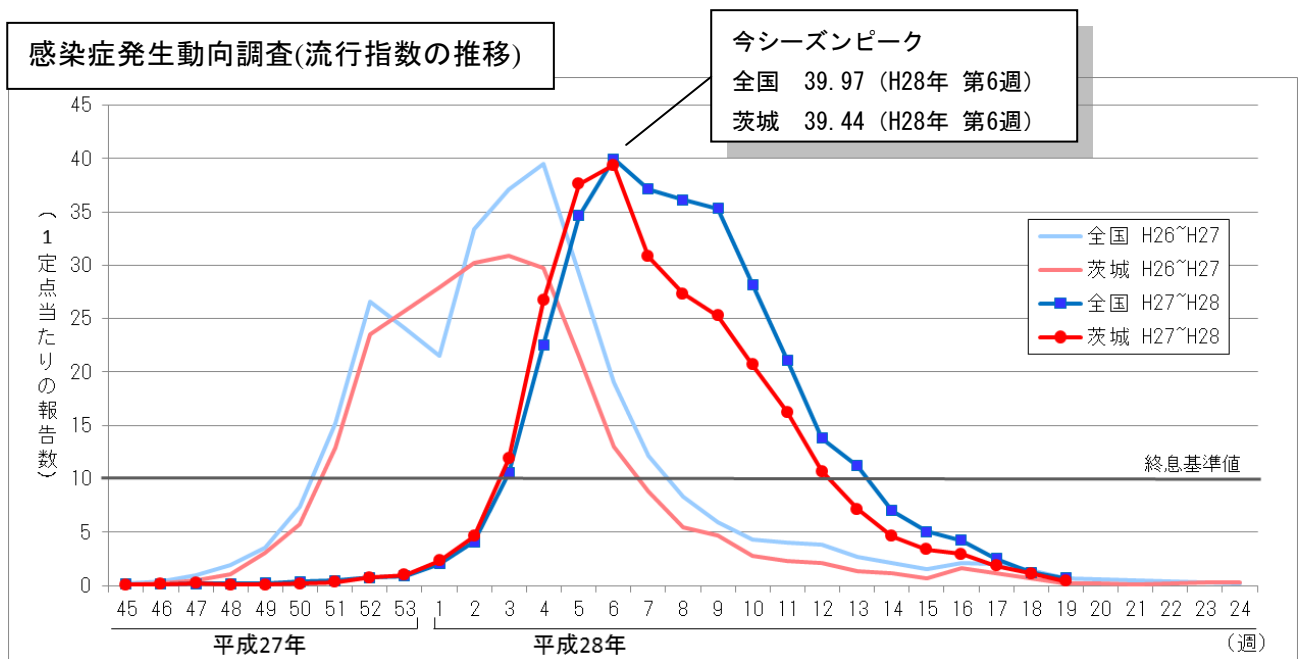
本県における平成28年第19週(5月9日～5月15日)のインフルエンザ流行指数は**0.43(第18週は1.11)となりました。**全ての地域で減少し、古河保健所を除く11保健所で流行指数が1.0を下回りました。

今シーズン（平成27年8月31日～平成28年5月15日）の病原体の検出状況は、インフルエンザウイルスを検出した156検体のうちAH3(A香港型)が19検体(12.2%)、AH1pdm09が65検体(41.7%) B型が72検体(46.1%)となっています。

(参考：[昨シーズン AH3(A香港型):86.9%, AH1pdm09:3.6%, B型:9.5%])

インフルエンザの流行情報および流行マップについては、県全体の流行指数が1.0を下回り、全保健所管内で流行指数が10.0を下回っているため、今回を以て掲載を終了します。

なお、インフルエンザの学級閉鎖等の措置および入院患者の概況については、引き続き届出があった場合のみ、感染症情報センターのホームページに掲載します。



インフルエンザの流行に関する警報・注意報について

- ① 流行指数が**基準値(注意報: 10 警報: 30)**を超えた保健所区域には「地域注意報」又は「地域警報」を発令します。また、県全体において流行指数が基準値を超えた場合には、「県全域注意報」又は「県全域警報」を発令します。
- ② **注意報**：流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があること、流行発生後であればその流行がまだ終わっていない可能性があることを示します。
警報：大きな流行の発生・継続が疑われることを示します。
 なお、**警報の解除は終息基準値(10)を下回ったときになります。**

《各保健所管内のインフルエンザ流行状況》

保健所	定点数	調査期間：H28. 5. 9～H28. 5. 15 (第19週)		調査期間：H28. 5. 2～H28. 5. 8 (第18週)	
		患者数	流行指数※1	患者数	流行指数※1
水戸	17	2	0.12	5	0.29
ひたちなか	8	3	0.38	7	0.88
常陸大宮	8	4	0.50	8	1.00
日立	11	6	0.55	24	2.18
鉾田	5	4	0.80	6	1.20
潮来	8	7	0.88	9	1.13
竜ヶ崎	14	7	0.50	27	1.93
土浦	13	4	0.31	17	1.31
つくば	10	4	0.40	5	0.50
筑西	10	0	0.00	4	0.40
常総	8	0	0.00	1	0.13
古河	8	10	1.25	20	2.50
県全体	120	51	0.43	133	1.11

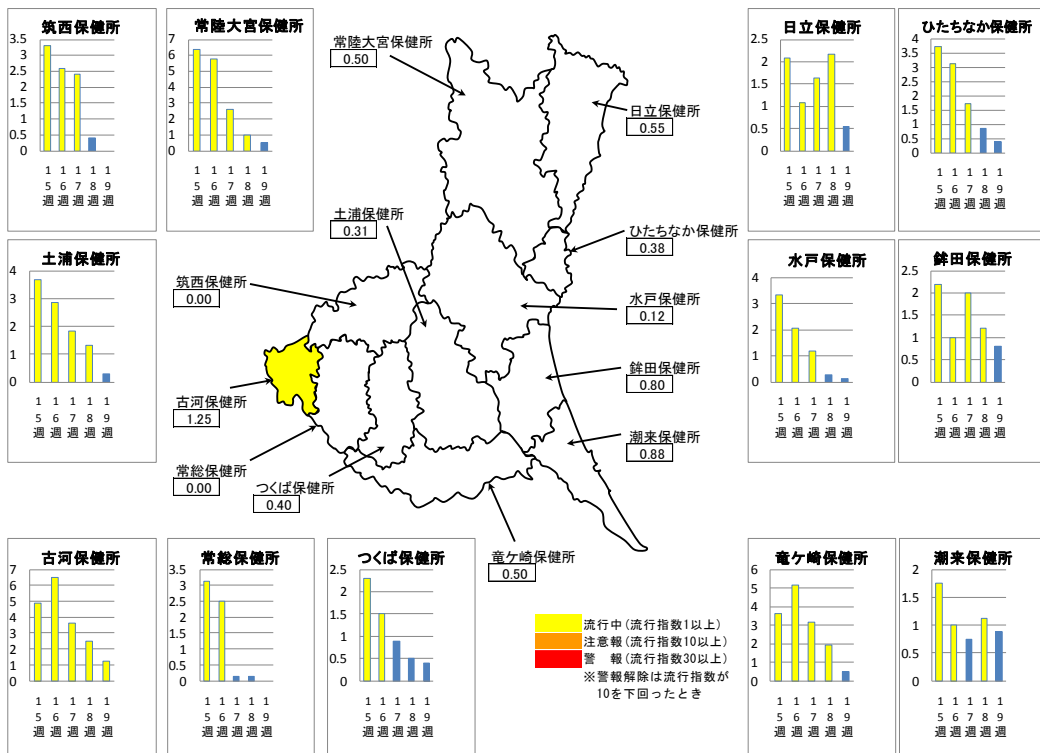
※1 インフルエンザ流行指数は1定点あたり1週間の平均患者数

インフルエンザ流行指数 = $\frac{\text{インフルエンザ定点において1週間の間にインフルエンザと診断した患者数}}{\text{インフルエンザ定点数}}$

- ・インフルエンザ定点数は県内に120医療機関（平成28年5月15日時点）
- ・流行指数が1.0を超えると流行期に入ったと判断します。

《茨城県内のインフルエンザ流行マップ》

●2016年第19週（5月9日～5月15日）および過去4週間のインフルエンザ流行状況



◆引き続き県民の皆様には「手洗いの励行」、「咳エチケットの実践」、「予防接種」等、インフルエンザの予防をお願いいたします。インフルエンザに関する情報を感染症情報センターホームページに掲載しておりますので、ご参照ください。

<http://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/eiken/kikaku/documents/influ.html>

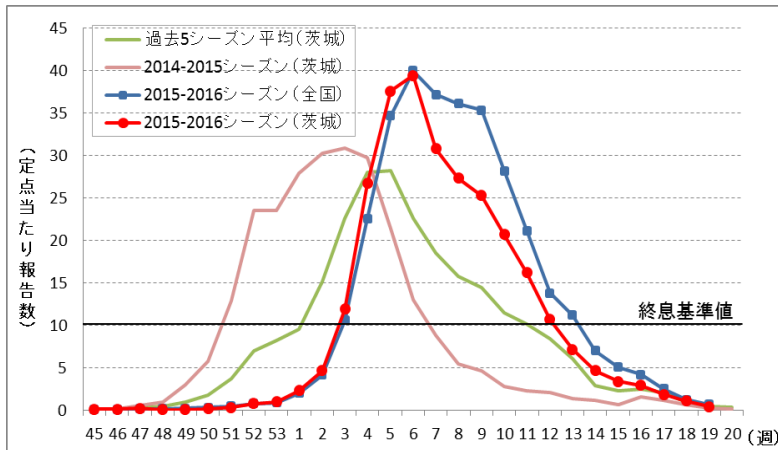




茨城県感染症情報センター
 (茨城県衛生研究所企画情報部)
 TEL 029-241-6652

【参考資料】

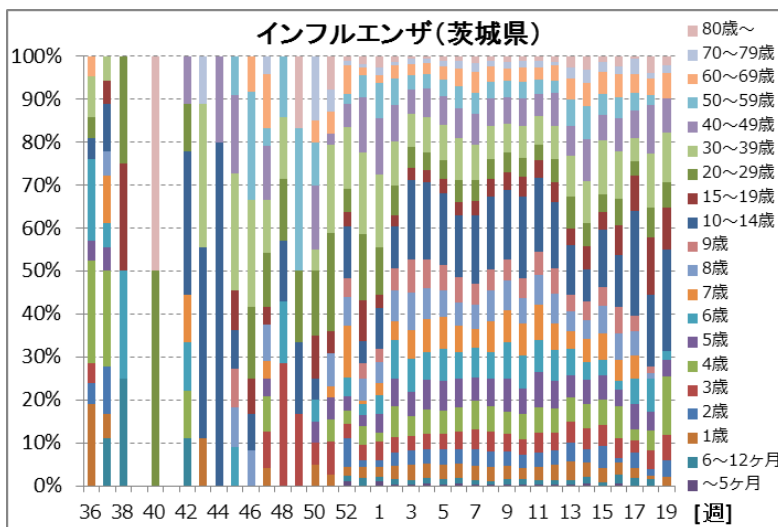
《過去5シーズンと今シーズンの比較》



今シーズンは、2016年第1週に流行指数が2.31まで増加し、流行入りとなりました。その後、報告数が急増し、第3週に注意報が発令され、第5週には警報が発令されました。ピーク時には39.44（第6週）となりましたが、その後は減少し、第13週に警報解除となりました。

昨シーズンおよび過去5シーズン平均と比べると流行入り、警報解除が遅い状況でした。

《週別年齢別報告割合》

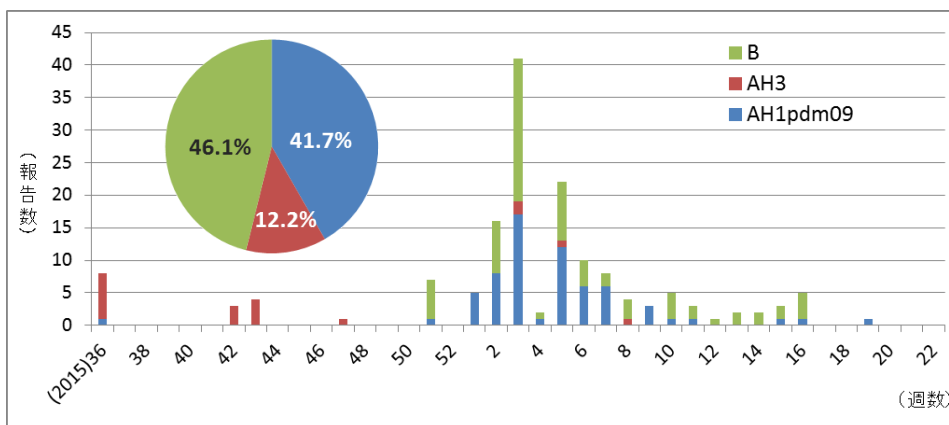


今シーズンは、年齢別に見ると、流行入りから警報解除までの期間の半数以上が14歳以下の報告であり、警報解除後は徐々に成人の割合が増加しました。

※学級閉鎖・集団発生の情報は、「茨城県インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等の措置について」を参照ください。

《病原体検出状況》

2016年5月15日現在



今シーズンは、B型が46.1%と最も多く、次いでAH1pdm09が41.7%、AH3（香港型）が12.2%検出され、昨シーズンとは異なり混合流行が続いていました。

《抗インフルエンザ薬剤耐性A(H1N1)pdm09株》

	茨城県	全国
耐性株数 (275Y) , 耐性ミックス株数 (275H/Y)	2	40 (1.9%)
総解析株数	57	2,054

(2016年5月13日時点)

今シーズンは、本県および全国でもA(H1N1)pdm09の薬剤耐性株が検出されました。

※A (H3N2) およびB型の薬剤耐性株は現在のところ検出されていません。